

全溶連におけるSDGsの取り組みについて

Introduction

いつも全溶連活動にご協力いただき、ありがとうございます。
全溶連が推進する、持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みについてご説明いたします。

■ SDGsの概要

持続可能な開発目標(SDGs)は、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。これは全加盟国が一致で採択し、発展途上国のみならず先進国も取り組む普遍的な目標です。

■ 高圧ガス業界の歴史と安全確保

高圧ガスは、そもそも国内産業界の黎明期に、日本の社会に明るい未来をつくるために導入され、産業界のインフラとして重要な役割を果たしてきました。明治時代末期に輸入され、酸素やアセチレンを利用した精密な金属加工が可能となり、日本の産業を支えてきた技術ですが、大正年間以降、活発に利用されるようになった高圧ガスから、さまざまな事故が多発し、公共の安全確保が急務となりました。このため「圧縮瓦斯及液化瓦斯取締法」が大正10年に施行され、後に高圧ガス取締法の基礎となり、現在の高圧ガス保安法へとつながっています。



大正時代には輸送中の酸素・アセチレンが炎上し、駅舎を燃やしてしまう死傷事故も起きました

■ 高圧ガス業界とSDGsの目標の一致

高圧ガス業界の先人たちは、事故の防止と公共の安全確保を目的に、多くの努力を重ねてきました。現在も継続的に続けられている代表的な物として、法的には保安台帳の作成・更新、容器の所在管理や登録および状態確認、災害発生防止の情報周知と記録、従業者への保安教育、販売届の管理や主任者の選任はもちろんのこと、自主保安として業界団体を構成し、販売主任者や経営者・従業者、さらには需要家(高圧ガス消費者)に対する大規模な保安教育、あるいは地域容器管理委員会の主導による放置容器や管理不在容器の回収・処理、行政や官憲からの情報の共有、治安維持活動への対応や保安訓練の実施、最近では動物感染症や広域災害発生時の緊急対応についての協定締結をはかることも行っております。

こうした努力により、高圧ガスの利用が安全に行われ、産業界の発展を支えてきました。その取り組みは、高圧ガスを使える豊かな社会を維持し続けるというものでしたが、21世紀となった現在、SDGsの目指す持続可能な未来を築くという目標と合致しています。



■ SDGsを通じたさらなる推進

全溶連では、これまでの取り組みをSDGsを通じてさらに強化し、業界全体の安全意識を高めることを目指しています。具体的には持続可能な未来を築くため、自主保安活動を行う会員支援に寄与する、以下のような取り組みを推進します。



目標2：飢餓をゼロに

鳥インフルエンザ感染症抑制：炭酸ガスの供給により動物感染症対策に貢献。



目標3：すべての人に健康と福祉を

吸引系ガス乱用抑制：契約見直しや注意喚起資料の提供を通じてガスの誤用や乱用を防止。

高圧ガス誤吸引防止：契約見直しや保安台帳の様式変更で、ガスの誤用防止を徹底。



目標4：質の高い教育をみんなに

危険性啓蒙：保安資料再編や改訂を行い消費者向けに高圧ガスの危険性を啓蒙。

学校教育向け資料の提供：一般的な危険説明資料を提供し学校での教育を支援。



目標5：ジェンダー平等を実現しよう

女性の参加促進：業界内で女性の参加を促進しジェンダー平等を実現。



目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

水素ガスの普及対応：水素ガスの特有の危険性を周知し安全な普及を支援。



目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう

水素ガスの拡販推進：水素ガスの安全利用を促進し産業と技術革新を支えます。



目標11：住み続けられるまちづくりを

高圧ガスの公道移動の安全性改善：公道移動における遵法キャンペーンを実施。

放置容器の迅速回収：公共スペースから危険な不法投棄容器の回収を推進。



目標12：つくる責任つかう責任

廃棄容器漏出ガス防止：容器貸与契約の徹底や早期回収を促進し環境への悪影響を防ぎます。



目標13：気候変動に具体的な対策を

気候変動の影響軽減：供給先のガスや容器流出対策を強化。



目標16：平和と公正をすべての人に

容器の盗難防止：容器盗難防止対策を徹底し悪用されないよう管理を強化。



目標17：パートナーシップで目標を達成しよう

地域ルール of 把握と遵守：全国の地域ルールを把握業界他団体との協力を強化。

■ 全溶連のSDGs宣言

全溶連は、SDGsの目標達成に向けて、2023年の第80回記念大会において、以下のように宣言を行いました。「持続可能な社会の実現に向けて、全溶連は以下の取り組みを推進します。高压ガスの安全な利用を通じて、環境保護、公共の安全、そして平和で平等な社会を実現します。我々の活動は、高压ガス業界全体の発展と、持続可能な未来を支えるために重要な役割を果たします。」

その発表時に公開された動画は、全溶連ホームページのリンクから、または右のQRコードからご覧いただけます。



■ まとめ

幸い、我々の業界は、かつて行政の強力な指導の下、危険物である高压ガスを取り扱い、その活動によって産業界において高压ガスの保安を推進し、その恩恵を受け続けられる社会を継続させるという使命を全うし、その結果、業界は100年以上継続してきました。

しかし、その役目に必要とされてきた努力が適切な自主保安に引き継がれなかったら、未来にガスの利用できる豊かな社会を残せず、当然ビジネスも成り立たなくなっていくに違いありません。

SDGsを好機としてそうした努力を推し進めなければ、その将来は必ず自分自身や自分の会社にも訪れるという危機意識の下、全国で、あるいは各社で取り組んでいる高压ガス事業に付随する自主的活動や業界活動の認識を新たに、全溶連の取り組みと呼応してさらなる活性化を目指して、その方法論の改善も含め、保安活動を徹底し、一層活発に推し進めていきます。

